

授業科目名	博士論文課題演習II
科目番号	0BVA202 / 02JD302
単位数	2.0単位
標準履修年次	2年次
時間割	通年 集中
担当教員	木内 敦詞, 白木 仁, 本間 三和子, 長谷川 悦示, 高木 英樹, 鍋倉 賢治, 坂本 昭裕, 山本 正嘉, 前田 明, 金高 宏文, 高橋 仁大
授業概要	春学期には、投稿した論文に対する査読者および編集委員会からの指摘を正しく理解し、それに対する意見を添えた修正原稿をとりまとめる。受理された後も、ゲラ校正において一字一句に著者としての責任を持ち、誤植等のない論文を公表する。査読者および編集委員会との文章でのやりとりを体験するなかで、自己の研究課題の意義や方向性を深く再検討していく。秋学期には、QE(博士論文執筆開始資格認定検査)へ向けた準備を進める。
備考	
授業形態	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「知の創成力」に関連する。
授業の到達目標 (学修成果)	(1) 査読者の意見をとり入れながら、自己の研究課題の意義や方向性を再検討できる。 (2) 大学の体育授業や運動部活動の指導に関する実践の自己内省に基づき、自己の教育指導理念を言語化できる。
キーワード	実践的研究能力, 実践的教育能力, 高度指導者教養
授業計画	<春学期> - 査読回答書の理解 - 指摘点へ対応方針の検討 - 指摘点への対応と新旧対照表の作成 - 論文の再投稿 - 再査読回答書の理解 - 指摘点への対応 - 論文の再々投稿 - 再々査読回答書の理解 - 指摘点への対応 - 論文受理後のゲラ校正 <秋学期> - QEで審査される事項の把握 - 本専攻の人材育成像の確認 - 体育授業のシラバス・レッスンプランの作成 - 担当授業の動画撮影と教師行動分析 - 授業アンケートの集計整理 - 運動部活動の年間指導状況(計画)の整理 - 運動部活動の指導理念の文言整理 - 実践的研究能力に関するプレゼン演習 - 実践的教育能力に関するプレゼン演習 - QE実施
履修条件	特になし
成績評価方法	本専攻の目指す3つの能力「実践的研究能力」「実践的教育指導力」「高度指導者教養」の水準をQEによって評価し、これに合格することで単位認定される。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	下欄に示す参考文献と、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」2014年改訂(2017年一部改正)(文部科学省, 厚生労働省), 「筑波大学体育系研究倫理委員会研究倫理審査申請の手引き」を常に手元に置いておくこと。
教材・参考文献・配布資料等	『研究の育て方:ゴールとプロセスの「見える化」』 近藤克典, 医学書院, 2018 『基礎から学ぶ楽しい学会発表・論文執筆』 中村好一, 医学書院, 2013 『科学の健全な発展のために—誠実な科学者の心得—』日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会編, 丸善出版, 2015
オフィスアワー	重複を避けるため、事前に連絡を取ることが望ましい。
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	特になし
他の授業科目との関連	「博士論文課題演習 I」履修済みであることが望ましい。